

議会研修会

住民との意見交換の場を 設定することが必要



今年度の町議会議員研修会が、役場第1会議室で9月21日に行われました。講師には、毎日新聞論説委員の人羅格（ひとらただし）氏を招き、「地方創生と地方議会の役割」という演題で行われました。内容は、大きく分類すると①住民参加機能の強化②政策提言機能の評価③議会評価の導入④情報公開の徹底という4つの分野に基づき行われました。①の住民参加機能の強化では、「議会

報告会」や「政策討論会」など、多様な意見交換の場を設定することが必要ということでした。②政策提言機能の評価では、予算の伴う議員提案の政策条例は提案できない等の不都合が生じるので、議会の権限を考え直す必要があるということでした。③議会評価の導入では、活性化度や透明度などを全議員が自己評価するとともに、それを集約して全体評価をする必要があるということでした。④情報公開の徹底では、住民に情報のオープン化を図り、身近に見えるような工夫を図る必要があるということでした。また、近年不正が取り正されている政務活動費については、使途を明確にし、第2の報酬と言われないようにすることが大切であるということでした。

千葉県町村議会議員研修会

8月2日オークラ千葉ホテルで行われた、千葉県町村議会議員研修会に参加して参りました。当日はお二人のご講演を拝聴致しました。

最初の講師は、地方創生アドバイザー・立正大学客員教授高野誠鮮氏です。

石川県羽咋市神子原地区が「限界集落」まで陥った状況を再生し、大成功を収めた取り組みを語って下さいました。地元を売る事だけを考え、色々なアイデアを実行し、ブラン



ド化する等簡単ではありませんが、当町でも活かせる物があると感じ、非常に参考になりました。

二人目の講師は、ブランド総合研究所代表取締役社長、田中章雄氏です。

インターネット調査によって地域ブランド調査（都道府県や市区町村に対する評価）を行っている方で、調査結果から、千葉県に対する評価をまとめ、グラフで年代別、地域別等で詳しく説明して頂きました。印象強かった内容は、千葉県に対するイメージ調査で、他県、中でも20代の方々からの人気が非常に高いという事でした。こうした信憑性の高いデータを基に、的確な施策を行う事によって、その実効性は数倍に跳ね上がる物と考えます。

一日、とても有意義な時間を過ごす事が出来ました。今後の活動の参考にさせていただきます。